

令和6年度第3回上下水道事業運営審議会会議録

日 時 令和6年11月1日(金) 午前10時00分開会

場 所 流山市上下水道局3階 大会議室

会議内容

- 1 開会
- 2 議題について
 - (1) 「下水道事業経営戦略」の内容について
 - (2) 「下水道事業経営戦略」の委員からの意見聴取
 - (3) 「下水道事業経営戦略」改定に伴うパブリックコメントの実施について
- 3 その他
- 4 閉会

出席委員 (※)市民を代表する者 (*)学識経験者 ◎会長 ○副会長 敬称略

| | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|
| 高橋 信行(※)○ | 琉 哲夫(※) | 恩田 節子(※) | 荒木 利雄(※) |
| 鳥羽 洋子(※) | 小西 茂雄(※) | 中村 秋子(※) | 佐藤 弘泰(*)◎ |
| 伊藤 勝(*) | 竹村 圭介(*) | 廣瀬 一彦(*) | 藤代 和也(*) |
| 萩原 晶子(※) | 笠間 雄三(※) | | |

欠席委員 なし

出席事務局職員

| | | | |
|-----------|--------|------------|--------|
| 上下水道事業管理者 | 矢幡 哲夫 | 次長兼下水道建設課長 | 本田 英師 |
| 経營業務課長 | 酒巻 祐司 | 水道工務課長 | 浅川 晃 |
| 経營業務課長補佐 | 上原 裕充子 | 経營業務課長補佐 | 伊藤 佳代子 |
| 水道工務課長補佐 | 杉崎 浩之 | 水道工務課長補佐 | 新行内 彰夫 |
| 下水道建設課長補佐 | 山口 和久 | 経營業務課係長 | 伊藤 由香 |
| 経營業務課係長 | 梅木 太郎 | 水道工務課係長 | 林 孝佳 |
| 下水道建設課係長 | 野上 勇人 | 下水道建設課係長 | 鈴木 正吾 |
| 経營業務課主任主事 | 友松 慶彦 | 経營業務課主事 | 青山 琉美 |

事務局(上原補佐)

「令和6年度第3回流山市上下水道事業運営審議会」開会

事務局(上原補佐)

・議題に入る前の資料の確認

第3回流山市上下水道事業運営審議会次第、資料1 審議委員からの意

見、資料2 流山市下水道事業経営戦略【令和6年度改定版】(概要)、資料3 流山市下水道事業経営戦略【令和6年度改定版】(案)、資料4 パブリックコメント手続の実施要領につきましては、事前送付とさせていただきます。資料2及び資料3を差替えたものを配布させていただきます。

図やグラフを見やすくしましたので、本日はこちらをご使用ください。

その他にながれやま上下水道だより、令和5年度流山市上下水道事業年報を配布させていただきました。お時間がある時にお目通しください。資料の不足はございませんでしょうか。

事務局(上原補佐)
佐藤会長

以降の会議の進行は、佐藤会長にお願いいたします。

引き続き会議を進めてまいります。

はじめに、流山市附属機関に関する条例第5条第2項の規定では「会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。」とされており、本日は、委員総数14名のうち14名の出席であるため、会議が成立していることをご報告いたします。また、流山市審議会等の委員の選任及び会議の公開等に関する指針に基づき、「審議会等の会議の公開は、会議の傍聴により行うものとする。」と規定されていることから、傍聴を認めております。

佐藤会長

これからは、お手元の次第に基づき会議を進めさせていただきます。

議題(1)「下水道事業経営戦略」の内容について事務局の説明を求めます。

事務局(酒巻課長)

「下水道事業経営戦略」の内容について説明

*以下

議題(1)「『下水道事業経営戦略』の内容について」(2)「下水道事業経営戦略」の委員からの意見聴取 質疑応答

竹村委員

概要版の図1のグラフの色は先程の説明のとおりわかりやすくなったと思います。欲を言えば収益的支出の流域下水道維持管理負担金と人件費緑色の同じような色で区別がつきにくいので例えばどちらかの色を収益的収入の長期前受け金の模様の緑バージョンの方がよりわかりやすいと思います。

事務局(酒巻課長)

ご意見ありがとうございます。こちらのグラフの模様については再度検討します。

笠間委員

12ページの投資スケジュールのグラフのところですが、年度別事業費の流域下水道建設負担金とマンホールトイレ整備費の色の区別をはっきりしたほ

うがいいと思います。流域下水道建設負担金というのが書いてありますが、令和7年度から年約2億円とありますが、流域下水道建設負担金は7年度から新たにかかる費用ですか、また内容も教えてください。

事務局（酒巻課長）

12ページのグラフについてはわかりやすいように変更します。流域下水道建設負担金ですが、千葉県の下水道整備費用で毎年支出しています。

笠間委員

年報の何ページのどこを見たらよいですか。

事務局（酒巻課長）

年報の43ページの資本的収支表の建設改良費の中に含まれています。

笠間委員

そうすると資料の中に説明があるかもしれないですね。決算書をずっと見ている方が今回の経営戦略を見たら急に流域下水道建設負担金が出てきて、今までの決算書にはなかったという事ですから、戦略の中の負担金のところに説明をして頂いたら、細かく見る人もわかりやすい感じがします。

事務局（酒巻課長）

ありがとうございます。決算書と紐づけたものがどこに入るかという話ですが、説明については検討します。

小西委員

郵送で届いた“意見・提案を書く用紙”に細かく記載しましたが、その用紙と本日の審議会の意見・提案の扱いはどう違うのですか。

事務局（酒巻課長）

スケジュールの関係上、本日の審議会で意見をいただきたいと思います。

小西委員

15%ありきの資料を作って頂いて、今回は削除したという事で納得はしていますが、14ページの財政シミュレーションの表の下の3行の文の後に、この前の時には収益的収支という文章が記載されていて、資金ショートするという文面がありました。今回は記載されていませんが、その事を記載したほうがよいのではないですか。

事務局（酒巻課長）

次の15ページ（2）のところで資金不足する事を記載しています。

荒木委員

令和7年度以降は年約2億ということで、主な理由として流域下水道維持管理負担金の単価値上げによるものということですが、もう少し説明を加えたほうがいいと思います。この説明ではどのくらい値上がって、今までどう変わってくるのか苦しい状況が見えないと思います。

事務局（酒巻課長）

流域下水道維持管理負担金については現在千葉県で改定作業をしていて、案は頂戴しています。おそらく今月中には確定すると思っていて、スケジュールとあえば記載したいと考えています。

伊藤委員

9ページのウォーターPPPのところは「～」と「ー」の記号が混ざっているので統一した方がいいと思います。またウォーターPPPについては解説がありますが、PFIについては解説がないので説明を記載した方がいいのではないですか。

事務局（酒巻課長） ウォーターPPPの説明の上か下に追加したいと思います。それと記号「～」と「ー」が混ざっている件については統一したいと思います。

廣瀬委員 資料3の1ページ目の中段に近年諸経費の上昇ということで動力費の高騰とありますが、一般的だと労務費などになるが、もう少し幅広に記載したほうがいいかもしれません。また8ページについて、ストックマネジメント計画の更新などの導入の必要性とか記載されていますが、この中に耐震化の話も入っているので、通常ストックマネジメント計画と総合耐震化計画は別だと思えます。混同しているように読み取れます。その辺はどう考えていますか。

事務局（酒巻課長） 1ページ目については検討させて下さい。下水道事業のストックマネジメントは50年くらい前に整備された古い管を新しい管に換えることで耐震化が図られるという理屈になっているので、ストックマネジメントを進めることで耐震化が図られ、耐震管の割合が増えるという事です。

廣瀬委員 耐震補強などを特に行うものではないということですか。

事務局（本田次長） 新たに耐震補強を目的とした事業は別なので、ストックマネジメントとは別だと解釈しています。

廣瀬委員 耐震化は別なのですか。ストックマネジメント計画だと思えますが、耐震化が改定の理由の中にもあって、耐震化の話を別件で出さないのですか。例えば他の自治体だと出したりしていますか。

事務局（本田次長） あくまでストックマネジメントの事業の中では耐震化に特化した事業は行いません。別の事業として並行して進めていくという形です。ここに記載しているのは、ストックマネジメントで新しい管に入れ替えることで耐震管として整備されていくという考え方です。

佐藤会長 管路の健全性を把握した上で、修繕を計画的に進める中で耐震化を進めていくという事だと思えますが、今の廣瀬委員のご指摘だとその点が少し整理されていないのではないかとこの事ですか。

廣瀬委員 スtockマネジメントと耐震化では計画が別になります。

佐藤会長 ここで2つを合わせて記載するのは構わないですが、ストックマネジメントと耐震化を分けて記載した方がよいのではないですか。

事務局（管理者） 流山市で耐震化が進んでいないところは開発行為で造った団地の管です。コミュニティプラントのストックマネジメントを進める事で耐震化に繋がっていきます。コミュニティプラントの管の改良、更新をすることが耐震化に繋がります。

| | |
|-----------|--|
| 廣瀬委員 | ストックマネジメントで改築更新を行うことで耐震化も図るという理解ですね。 |
| 琉委員 | 今までも耐震化は進めてきていたはずなのに、それが記載されていません。能登地震発生に際して、今後の耐震化の必要性だけが前面に出ているように感じます。 |
| 管理者 | 昭和50年代後半から使用している管は耐震性能があります。それ以前の管は耐震性能を持っていません。料金改定をすることで、古い設計の管を迅速に直していきたいです。 |
| 萩原委員 | 表の中の文字を大きくしてほしい。また、ウォーターPPPやストックマネジメントの導入もいいですが、全てを民間に任せるのではなく自治体の技術の継承も継続も検討してほしいです。日本の自治体の技術はすごいと感動しています。自治体の技術継承が安心安全に繋がります。 |
| 伊藤委員 | 9ページのレベル3.5のところでウォーターPPPについて4項目ありますが、3ページではプロフィットシェアが漏れて3項目になっているのはなぜですか。 |
| 事務局（酒巻課長） | 追加記載します。 |
| 佐藤会長 | 9ページの「コンセッションに段階的に移行するための」という説明文は削除した方がいいのではないですか。 |
| 事務局（酒巻課長） | 削除します。 |
| 事務局（管理者） | コンセッションにはいかないことは市長とも打合せしておりまして、流山市公共団体側が技術力を失ってしまう事を市長も危惧しています。今の流山市の運営のままでよいのではないかとされていますが、国の方では民間委託を進めており我々は導入についてよく検討する必要があります。委員の方には今後の上水道事業の運営も含めて注視していただきたいです。 |
| 佐藤会長 | 8ページの図がありますが、この図を見ると平成26年から令和4年にかけて管きよの延長は増えていないように見えるのですが、この図は間違っていないでしょうか。 |
| 事務局（酒巻課長） | こちらの図はあくまでイメージで流山市の整備状況を示している図ではありません。 |
| 佐藤会長 | あまりにもリアルに見えてしまうので図の表現の仕方を直した方がよいです。11ページの現況分析について全国の下水道の状況が記載されていますが、ここに記載すべきことは流山市としてはどう分析するのですか、他市と比べてどのような位置づけなのかというような趣旨に記載し直したほうがい |

だと思います。パーセントの数字が多く記載されていますが、人によってはこのパーセントは、10ページのレーダーチャートの軸の数字と混同する人がいるのではないですか。12ページの②のところでは改築更新、管きよ改築費と記載されていますが、下の図には記載されていません。整合して見やすいように言葉を選び直して頂きたいです。この図をみると雨水事業は令和10年で終わるように見えますが、それでよろしいですか。令和10年から11年にかけて流域下水道建設負担金が若干増えているように見えますが、17ページの“下水道事業における今後の取り組み”の図には雨水事業は令和16年までずっと続けると記載されています。

事務局（管理者） 今後は下水道収入で経営をしていこうと考えています。全国的にも値上げの傾向にあり、他市の下水道事業の現況を表記することで、下水道事業経営を理解してもらいます。

事務局（次長） 雨水事業について確かに整合性がとれていません。確定している雨水事業は大堀川のみで今後の具体的な雨水事業の計画が確定していないことが要因です。

事務局（管理者） 現在、流山市で内水被害があるのは江戸川台東自治会交差点のところだけです。今言われている想定外の雨が降った時に計画にはありますが、手が付けられなかったところを少しずつやっていこうかといって事業計画に入れると雨水管は管断面が大きい為、事業費は大きくなります。

佐藤会長 雨水に関しては基本的に公費でやるので下水道料金とは関係ないという見方もできますよね。

事務局（管理者） 職員の人数にも影響があり、現在、汚水、雨水両方の事業を少しずつ進めている状況です。記載については見直します。

萩原委員 経営状況で10ページですけど、いろんなことを分析していただいて近隣類似3市や全国類似7市との指標比較が記載されています。いらないのではないかという事ですが、やはり他との関係がないと比較、検討ができず、流山はどうなっているのかが分かりません。流山市だけ記載してあるよりも具体性があった方が読み取りやすいです。

高橋委員 15ページ（1）の現状と課題の中でページ3の組織的人材の適正化、民間の活用、それから9ページのウォーターPPPの事に関連して、1つ事項として追加記載の提案で、将来への技術継承というテーマで現状の情勢、問題点を定義して記載してはどうですか。立派な技術を持っていますが、人材不足により、将来確実に継承されていくかどうかは15ページに技術継承の

観点が抜けているのではないですか、その項目を追記した方がよいのでは、結局、最終的には民間活力を効率的に活用しながら確実な技術継承なり、技術を発展させていくということが将来の課題になっていくと思いますので。追記を検討した方が良いでしょう。

事務局（管理者） 私もその通りだと思います。国は民間に委託すればすべて丸く収まると区切りがちですが、発注者側にも適正な技術者がいなければ適正な仕事なのかの判断も出来ません。多くの現場をみてきた役所にしかない技術やノウハウもあります。この提案については検討課題として入れさせていただきたいと思います。

佐藤会長 他にお気づきのことや誤字脱字など気が付いたことがあれば郵送した用紙に直接記入して置いていく形でもよろしいですか。

事務局（酒巻課長） 今後のスケジュールもあり、全て時間をかけて修正する時期にはない状態です。ただ今回頂戴したご意見は可能な限り反映させていきたいと思えます。もしよろしければ事前に配布した用紙にご記入いただいたものを置いて頂ければ可能な限り反映させて頂きたいと思えます。

佐藤会長 1つ1つチェックしてというようなレベルのものはできないかと思いますが、可能な範囲でお気づきの点があれば何らかの形で残していただければ反映できるという事ですので、よろしいですか。

次に、議題の（3）「下水道事業経営戦略」改定に伴うパブリックコメントの実施について事務局の説明を求めます。

事務局（酒巻課長） 「下水道事業経営戦略」改定に伴うパブリックコメントの実施について説明

*以下

議題（3）「『下水道事業経営戦略』改定に伴うパブリックコメントの実施について」質疑応答

小西委員 一般的なパブリックコメントの方法はホームページとか閲覧図書という形ですが、置いておけば見てくれると思わないでほしいです。

中村委員 そもそもパブリックコメントを募集している事をどこで知るのでですか。募集していることを知らなければ会議資料を見に行こうとも思わないですし、意見をあげることに出来ないと思うのですが、その認知はどうしていますか。

事務局（酒巻課長） パブリックコメントのお知らせは広報紙とホームページにてお知らせします。

- 中村委員 流山市のホームページのトップのトピックスを見れば掲載されていますか。全く水道のことに関係のない人がホームページにアクセスしたところでパブリックコメントのページにたどり着けなければ、募集をされていてコメントを出そうというところまでいきつけないと思いますがいかがでしょうか。
- 事務局（酒巻課長） 流山市のホームページにパブリックコメントの手続きについて纏めたページを作っていてそちらのページをご覧になって頂く形になります。
- 中村委員 結局は、ホームページにアクセスする興味、関心の高い人達だけの目に触れるのが実情ですし、一般広く意見を出せる人達にいきわたるほど認知はされていないのが実情ですか。広報に掲載されているのは知っています。
- 事務局（酒巻課長） パブリックコメントに限らず、市からのお知らせを送れる方法は限られている中で、ホームページへの掲載、紙媒体での広報紙、という方法をとっています。
- 中村委員 前回のパブリックコメントが意見ゼロだった事を考えると本当に意見が欲しいというよりは形だけにしか見えません。多くの人から意見をもらえるパブリックコメントの割には知らない人たちが大半なのではないですか。
- 事務局（管理者） 議会や議員の方に縁がない方でも深く関心を持てば意見を言えるのがパブリックコメントの主旨で市政への注視、多くの市民が関心持ってもらえるように皆様にも情報発信をお願いしたいです。
- 萩原委員 上下水道局のホームページを見ました。ここにいる方で上下水道局のホームページを見た方はどれくらいいるのですか。私達も市民の方に発信していく義務があるのかなと思います。
- 荒木委員 「現況の使用料の妥当性の再検証」と記載されていますが、今回該当しますか。言い過ぎではないですか。
- 事務局（酒巻課長） 検討します。
- 笠原委員 閲覧場所について、なぜ福祉会館が入っていないのですか。他にも閲覧場所を設けた方がいいのではないですか。
- 事務局（酒巻課長） パブリックコメントのやり方は基本的には流山市で統一されています。その中で、全市民にいきわたる場所として選択されていると理解しています。
- 笠原委員 以前は福祉会館もパブリックコメントの閲覧場所になっていました。もう一度確認された方がいいと思います。より多くの施設でより多くの市民が閲覧できる環境をつくるのが大事だと思います。
- 事務局（管理者） 本日頂いた意見について、修正が間に合わない時はパブリックコメントに修正すべき意見として掲載してもよろしいですか。

- 竹村委員 委員の中には、パブリックコメントの意見を提出できる者に該当しない者が出てくると思いますが、どう対応するのですか。
- 事務局（酒巻課長） パブリックコメントはいろいろな方から意見をもらうツールの一つであり、パブリックコメントが全てではありません。
- 小西委員 上下水道だよりについて、年1回発行しているということですが、今しか見られないようなものを掲載して欲しいです。
- 事務局（管理者） 広報担当者に伝えておきます。
- 佐藤会長 それでは、意見が一通り出ましたので、事務局は、委員の皆さんから出た意見やパブリックコメントに寄せられた意見を集約し検討を進めて、最終案を作成してください。最後に、「その他」について事務局から連絡事項等があればお願いします。
- 事務局（酒巻課長） 特にありません。本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。
- 佐藤会長 これをもちまして、本日の審議会を終了させていただきます。

閉 会

（ 終了 午前11時30分 ）